INAX

●洗面化粧台　フルオープンタイプ　LCXFO-905S(N)L　LCXFO-905S(N)R　LCXFO-905S(N)L(Y)　LCXFO-905S(N)R(Y)　LCXFO-1055S(N)L　LCXFO-1055S(N)R　LCXFO-1055S(N)L(Y)　LCXFO-1055S(N)R(Y)

洗面化粧台

L.C.〈エルシィ〉フルオープンタイプ

施工される前に

●施工に際しては必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
※この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。
※水栓金具については、付属の施工説明書に従い正しく施工してください。
●「保証書（取扱説明書裏表紙）」は貴店名、取付日を忘れずに記入の上、必ずお客さまにお渡しください。
●施工段階での欠陥工事は、製造物責任法に基づき、二次責任が問われる場合がありますことを十分にご認識いただき、お客さまが安全で快適にご使用できるようご協力ください。
●付属部品の内容と数量が合っていることを確認してください。

■付属部品

化粧台全体・間口900タイプ

品番	LCXFO-905S(N)L	LCXFO-905S(N)R	LCXFO-905S(N)L(Y)	LCXFO-905S(N)R(Y)
化粧台上部	LCXA-755S(N)		LCXA-755S(N)L(Y)	LCXA-755S(N)R(Y)
化粧台下部	LCXE-750			
洗面横収納	LCXBK-155			

化粧台全体・間口1050タイプ

品番	LCXFO-1055S(N)L	LCXFO-1055S(N)R	LCXFO-1055S(N)L(Y)	LCXFO-1055S(N)R(Y)
化粧台上部	LCXA-905S(N)		LCXA-905S(N)L(Y)	LCXA-905S(N)R(Y)
化粧台下部	LCXE-900			
洗面横収納	LCXBK-155			

※化粧台品番に対して、化粧台上部、化粧台下部および洗面横収納の3梱包になっています。

化粧台上部

品番	LCXA-755S(N) LCXA-905S(N)	LCXA-755S(N)L(Y) LCXA-905S(N)L(Y)	LCXA-755S(N)R(Y) LCXA-905S(N)R(Y)
水栓金具	1セット		
排水横引き管	1個		
ポップアップ排水栓セット	1セット		
水受けタンクセット	タンク 1個 スペーサー 2個 取付ねじ(なべφ3.5×20mm) 2個		
ストレート止水栓	―	1セット（2本）	
給水ホースセット	―	1セット（2本）	
排水トラップ	1個		
臭気止めパッキン	1個	―	
排水アダプター	―	1個	
施工説明書 取扱説明書	各1部		

※施工ビスセットは洗面横収納に同梱されています。

化粧台下部

品番	LCXE-750	LCXE-900
バックパネル	1枚	
前パネル	1枚	
カウンター固定用桟木	2本	
木口フィラー	2枚	
給排水ガイド	1個 固定用ねじ（皿φ3.5×14mm）4本	

洗面横収納

品番	LCXBK-155
棚板	1枚
前パネル	1枚
洗面横収納(上部)固定用ねじ (ワッシャー付なべφ4.5×60mm)	4本
洗面横収納(下部)固定用ねじ (トラスφ4.0×50mm)	3本
棚板受ダボ	4本
化粧台上部固定用ねじ (トラスφ4.0×50mm)	2本
化粧台上部 カウンター固定用桟木固定用ねじ (なべφ3.5×16mm)	4本
バックパネル固定用ねじ (皿φ4.5×60mm)	4本
連結ワッシャー	4個
化粧キャップ	4個
カウンター固定用桟木固定用ねじ (トラスφ4.0×30mm)	4本
カウンター固定用桟木固定用ねじ (トラスφ4.0×50mm)	2本 (壁への固定の場合に使用)

※同じ種類・長さで重複しているものもあります。

アッパーキャビネット

品番	LCU-155C LCU-255C LCU-305C LCU-455C LCU-655C	LCU-755C	LCU-905C LCU-1005C LCU-1205C
固定用ねじ (ワッシャー付なべφ4.5×60mm)	4本		6本
キャビネット連結ねじ (トラスφ4.0×30mm)	2本	―	

トールキャビネット

品番	LCXS-155L(R)	LCXS-255L(R)	LCXS-305 LCXS-455
棚板	2枚(落下防止バー付)		2枚
棚板受ダボ	8個	―	8個
棚板用ダボ	―	8個	―
棚板受ダボ(ツメあり)	―	4個	―
棚板受ダボ(ツメなし)	―	4個	―
固定用ねじ (ワッシャー付なべφ4.5×60mm)	3本	6本	
キャビネット連結ねじ (トラスφ4.0×25mm)	2本		
穴埋めキャップ	2個	4個	―
スペーサー	―	1本	―
スペーサー固定用ねじ (皿φ4.0×30mm)	―	2本	―

ミドルキャビネット

品番	LCK-252C LCK-302C LCK-452C
棚板	2枚
棚板受ダボ	8個
固定用ねじ (ワッシャー付なべφ4.5×60mm)	4本

ランドリーキャビネット

品番	LCK-652 LCK-752
棚板	1枚
棚板受ダボ	4個
固定用ねじ (ワッシャー付なべφ4.5×60mm)	4本

サイドベースキャビネット

品番	LCXB-305H LCXB-455H
固定用ねじ (トラスφ4.0×50mm)	2本
キャビネット連結ねじ (トラスφ4.0×25mm)	2本

L型収納キャビネット

品番	(トール) LCXS-255SL(R)	(トール) LCXS-255EL(R)	(ベース) LCXB-255S
棚板(落下防止バー付)	2枚	3枚	―
棚板受ダボ	8個	12個	―
棚板受（ツメあり）	4個	6個	―
棚板受（ツメなし）	4個	6個	―
壁固定用ねじ (トラスφ4.0×50mm)	―		2本
壁固定用ねじ (ワッシャー付なべφ4.5×60mm)	6本		―
キャビネット連結ねじ (トラスφ4.0×25mm)	2本		
穴埋めキャップ	4個	4個	―
スペーサー	1本		
スペーサー固定用ねじ (皿φ4.0×30mm)	2本		
バスタオル掛セット	バー　1本 ソケット1個、受け座1個 固定用ねじ(キャビネット連結用)皿φ3.5×12mm　1本 固定用ねじ(壁連結用)皿φ3.5×30mm　1本		
天板固定用L金具セット	L金具　2個 固定用ねじ(キャビネット連結、天板用)皿φ3.5×14mm　6本 固定用ねじ(壁連結用)皿φ3.5×30mm　2本		

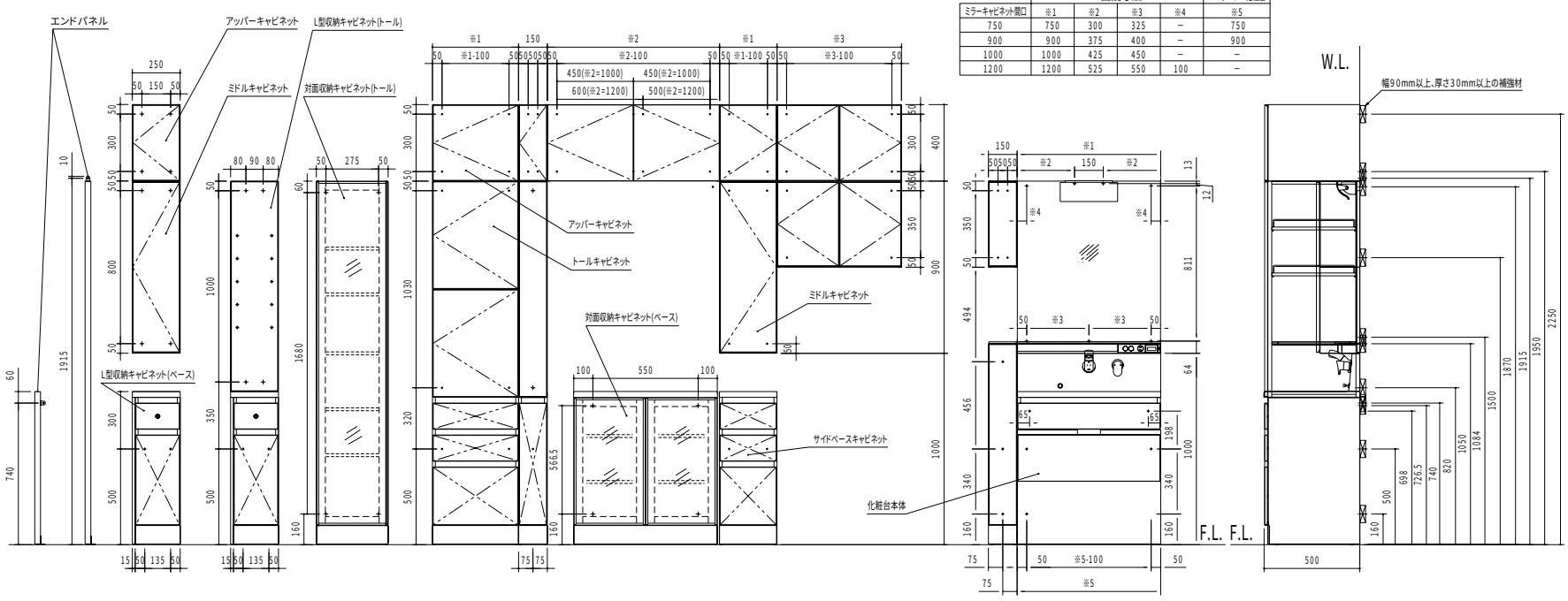
対面収納キャビネット

品番	(トール)LCS-372SA LCS-372SAN	(ベース)LCB-752SA
棚板	4枚	2枚
棚板受ダボ	16個	8個
壁固定用ねじ (トラスφ4.0×50mm)	―	4本
壁固定用ねじ (ワッシャー付なべφ4.5×60mm)	4本	―
キャビネット連結ねじ (トラスφ4.0×25mm)	3個	―

エンドパネル

品番	LCE-035	LCE-032	LCE-032(1900)
転倒防止L金具	1個	―	
転倒防止L金具固定用ねじ (トラスφ3.0×16mm)	3個	―	
床固定用L金具セット	L金具　2個 固定用ねじ(パネル用)皿φ3.5×14mm　4本 固定用ねじ(床・壁固定用)皿φ3.5×30mm　2本		

※1=300,450　※2=750,900,1000,1200　※1=300,450　※3=650,750



洗面化粧台用寸法表

ミラーキャビネット間口	1面鏡寸法 ※1	※2	※3	※4	フルオープン化粧台 ※5
750	750	300	325	―	750
900	900	375	400	―	900
1000	1000	425	450	―	―
1200	1200	525	550	100	―

株式会社INAX
お客さま相談センター　ダイアルイン　☎0562-31-0792
平日「9：00～19：00」対応　土日・祝日「10：00～18：00」対応（年末年始・夏期休暇は除く）

●アッパーキャビネット
LCU-155C、LCU-255C、LCU-305C、LCU-455C、LCU-655C、LCU-755C、LCU-905C
●トールキャビネット
LCXS-155L(R)、LCXS-255L(R)、LCXS-305、LCXS-455
●ミドルキャビネット
LCK-252C、LCK-302C、LCK-452C
●ランドリーキャビネット
LCK-652、LCK-752
●サイドベースキャビネット
LCXB-305H、LCXB-455H
●L型収納キャビネット
(ベース)LCXB-255S、(トール)LCXS-255SL(R)、(トール)LCXS-255SEL(R)
●対面収納キャビネット
(ベース) LCB-752SA、(トール)LCS-372SA
●エンドパネル
LCE-032、LCE-035、LCE-032(1900)

安全のために必ずお守りください

ここでは施工に際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

警告 ・・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
注意 ・・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が重傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
⚠ ・・・・・「注意しなさい ！」（上記の 『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
⃠ ・・・・・「してはいけません ！」（一般的な禁止記号です。）
・・・・・「分解してはいけません ！」
・・・・・「指示通りにしなさい ！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 警告

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ケガや故障が生じる恐れがあります。
●ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

⚠ 注意

●この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁等）の場合はキャビネットの取付けをしないでください。
※キャビネットの取付強度が保てず落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。
●スライド蝶番の調節後は必ずAねじ、Cねじ、取付ねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※締付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。
●温水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。
●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※感電やショートして発火することがあります。
●電源は必ず専用のコンセントからお取りください。また、コード類を束ねたまま使用しないでください。
※発熱の恐れがあります。
●浴室内などの高温多湿な場所や水が浸る可能性がある床面には設置しないでください。
※木部が水を含んで腐ったり、漏電や感電の恐れがあります。

お願い

●浴室内などの高温多湿な場所や水が浸る可能性がある床面には設置しないでください。
※木部が水を含んで腐る恐れがあります。
●直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形の原因になります。
●不陸が5mm/2mを超える場合は施工しないでください。
※不陸があるまま施工するとキャビネットがひずむ場合があります。
●カウンター面は傷付きやすいので次の点について注意して施工してください。
・キャビネットや工具などの固い物をカウンター上に落としたり、乗せてひきずったりしないでください。
・カウンター上に乗らないでください。
※カウンターに傷が付くと補修しても完全に元の状態には戻りません。
●酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して本体をふかないでください。
※変色や変形の恐れがあります。

施工前の確認

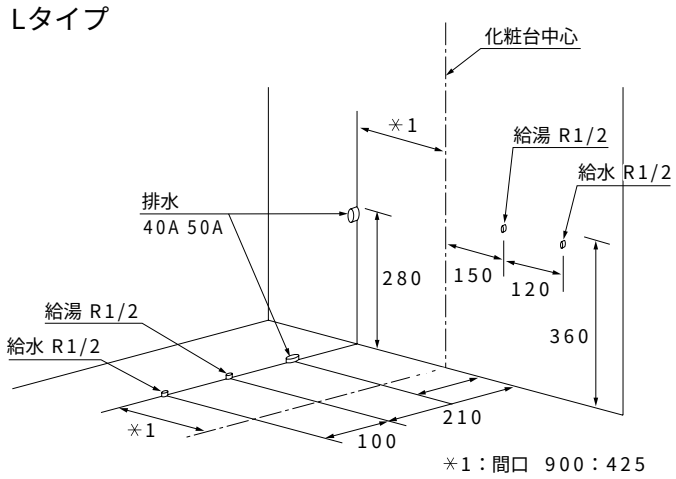
1. 給水、給湯の確認
給水・給湯の条件、水栓金具の設置条件は別紙説明書（水栓金具に付属）をご覧ください。

2. 配管工事の確認
給水、給湯管および配水管が所定の位置（下図参照）に指定の給排水管仕様で取り出してあるか確認してください。

⚠ 注意

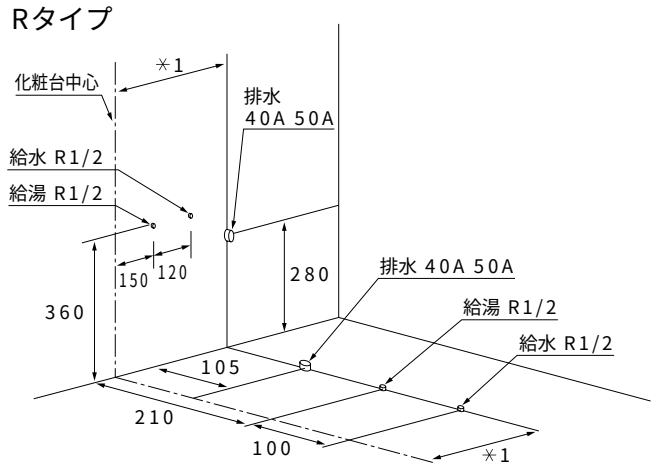
湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

Lタイプ



＊1：間口 900：425
間口1050：525

Rタイプ



＊1：間口 900：425
間口1050：525

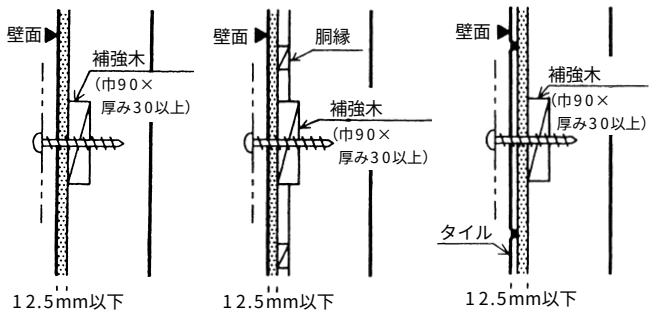
3. 壁面工事の確認
〔壁材、下地材の確認〕
●キャビネットの取付可能な壁面は右図に示す
（1）乾式壁3種
（2）湿式壁2種　の以上5種類の壁面のみです。
〔補強木、仕上げ材の厚みの確認〕
●キャビネットの取付けには、乾式壁の場合、壁面に補強木（幅90mm×厚み30mm以上）が指定の位置（寸法図参照）に必ず必要です。あらかじめ建築施工の際に補強木を設けてください。直接、壁の仕上材にキャビネットの取付けはしないでください。
●補強木の柱や、間柱への取付部材（ねじ等）は、キャビネットの固定強度(乾式壁の図を参照)と同等以上になるように種類、数を選定してください。
●乾式壁の場合は、補強木手前の仕上げ材は取付ねじを補強木に届かせるため必ずトータルの厚みで12.5mm以下のものを用いてください。
●湿式壁の場合は、AYボルトをコンクリートに届かせるため、モルタル、タイルの仕上げはトータルの厚みで20mm以下としてください。また、壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部をモルタル詰めにしてください。

⚠ 注意

この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁等）には、キャビネットの取付けをしないでください。
※キャビネットの取付強度が保てず、落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。

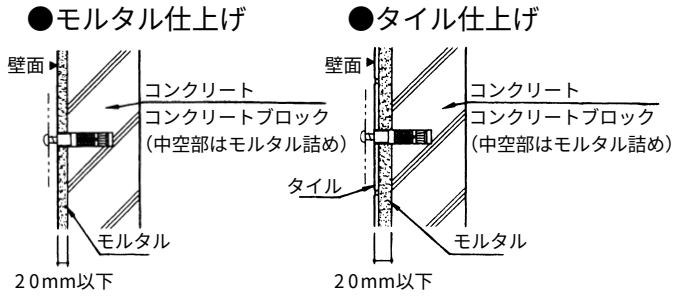
（1）乾式壁

●ボード類直張り　●ボード類胴縁取付け　●タイル仕上げ



（2）湿式壁

●モルタル仕上げ　●タイル仕上げ



※壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部はモルタル詰めしてください。

4. 床面の確認
●設置する床は水平で著しい凹凸や不陸がないことを確認してください。
●床面は強固でぐらつき、たわみが生じないことを確認してください。
※キャビネットがぐらついたり、取付精度（収まり）が悪くなる恐れがあります。

お願い

浴室内などの高温多湿な場所や水が浸る可能性がある床面には設置しないでください。
※木部が水を含んで腐る恐れがあります。

〔壁の不陸について〕
●キャビネット取付壁面の不陸は5mm/2m以下であることを確認してください。（キャビネットを壁に当て、壁とのすき間が5mm以下であることを確認してください。）

INAX

洗面化粧台

L.C.〈エルシィ〉フルオープンタイプ

施工方法

●乾式壁の場合は付属ねじをご使用ください。
●湿式壁の場合は、別途手配のＡＹボルト（ＫＢ-４×６０Ｔ（ＡＹ））をご使用ください。
※ＡＹボルトは壁にφ７.５の下穴を電動ドリルを使用して正確にあけ、切粉をよく取り除きご使用ください。

お願い

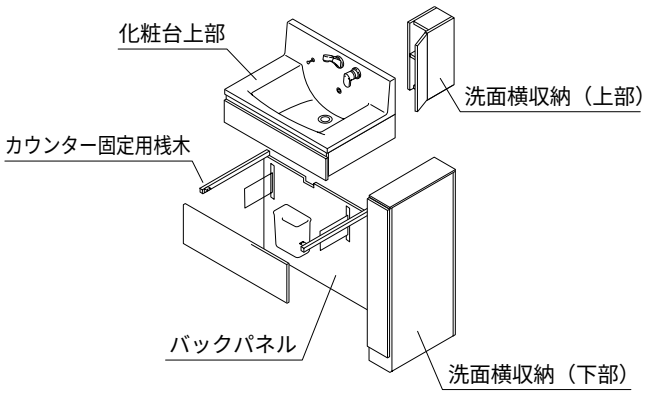
●扉色のエクセレントシリーズ（色番／ＸＷ５Ｎ）には扉表面に、サテングロスシリーズ（色番／ＸＨ２Ｎ、ＸＴ２Ｎ）には扉表面と扉小口に、養生フィルムが貼ってあります。施工完了まではがさないでください。
●エクセレント、サテングロスシリーズの扉、アルミ枠タイプの扉は表面にキズが付きやすいため、取扱いには十分注意してください。

（施工例）

側面壁に周辺キャビネットが設置される場合。

側面壁に洗面横収納が設置され、反対側に周辺キャビネットが付く場合。

●フルオープンタイプの部材構成
化粧台全体フルオープンタイプは、化粧台上部・洗面横収納（上部・下部）バックパネル・カウンター固定用桟木（2本）から構成されてます。



■施工手順の説明

※化粧台の隣に何を設置するかにより手順が異なります。以下の順序に従って組立ててください。

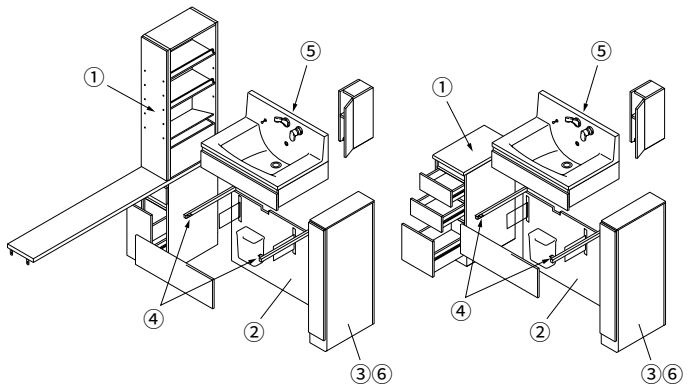
1. 化粧台設置前の準備（共通）

1－1）キャビネットの給水管・排水管穴あけ
1－2）水栓金具の取付け
1－3）木口フィラーの取付け
1－4）サイドキャップの取付け（別売品）

2. 化粧台の設置

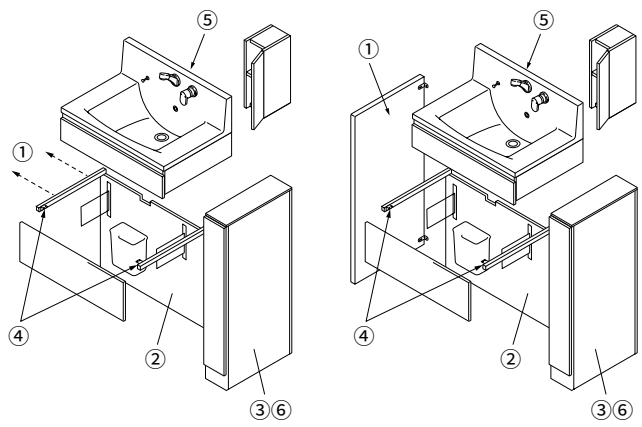
側面壁から順に設置します。
化粧台の隣に何を設置するかにより以下の場合があります。（下図は左側の壁に設置する場合です。右側の時も同様です。）

2－1）側面壁に周辺キャビネット（トール・サイドベース）が設置される場合。



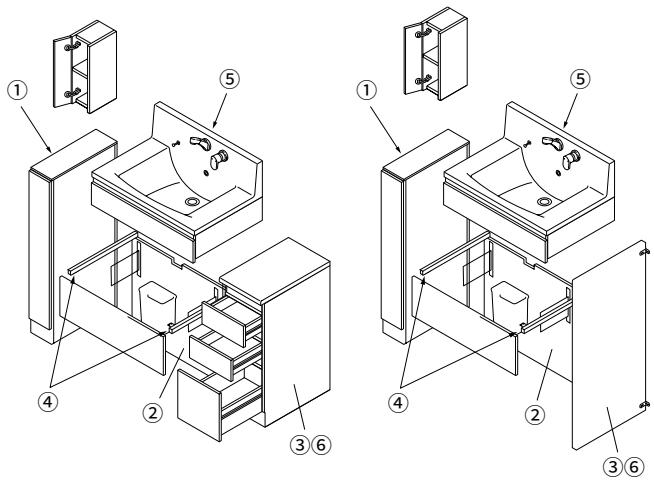
①周辺キャビネット（トール・サイドベース）を設置します。後述の周辺キャビネットのページをご覧ください。
②バックパネルを設置します。
③洗面横収納（下部）を仮置きします。
④カウンター固定用桟木を取付けます。
⑤化粧台上部を設置します。
⑥洗面横収納（下部）を設置、固定します。

2－2）側面壁に直接設置、またはエンドパネル（LCE-035）を取付けて設置する場合。



①直接壁に固定する場合は壁内に補強があることを確認してください。必要な場合はエンドパネルを取付けます。
②バックパネルを設置します。
③洗面横収納（下部）を仮置きします。
④カウンター固定用桟木を取付けます。
⑤化粧台上部を設置します。
⑥洗面横収納（下部）を設置、固定します。

2－3）側面壁に洗面横収納が設置され、反対側に周辺キャビネット（トール・サイドベース）またはエンドパネル（LCE-035）が付く場合。



①洗面横収納（下部）を設置します。
②バックパネルを設置します。
③反対側に設置する周辺キャビネットまたはエンドパネルを仮置きします。
④カウンター固定用桟木を取付けます。
⑤化粧台上部を設置します。
⑥周辺キャビネットまたはエンドパネルを設置、固定します。

3. その他の部材、給排水の取付け

3－1）バックパネルの部材取付け
3－2）水受けタンクの取付け
3－3）排水器具と排水トラップの取付け
3－4）止水栓の取付け
3－5）床給水時の給水ホースの取付け
3－6）前パネルの取付け
3－7）ミラーキャビネットおよび洗面横収納（上部）の取付け
3－8）その他のキャビネットの取付け

～以上の手順に従って化粧台を設置してください

ワンポイント

各部材の設置は水平器で垂直・水平を調整しながら設置してください。不陸の壁に沿わせて設置された場合、後から取付けるキャビネットがずれてしまう場合があります。

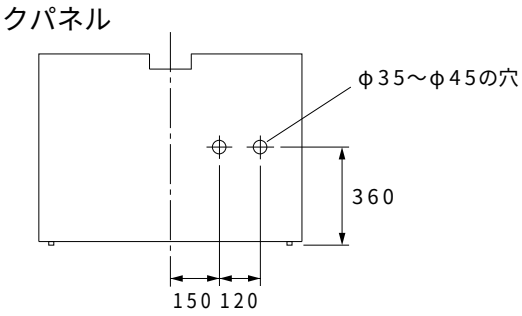
■施工手順

1. 化粧台設置前の準備（共通）

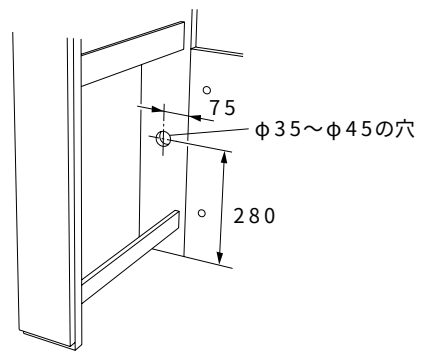
1－1）キャビネットの給水管・排水管穴あけ。

壁給水の場合、前述の「■施工前の確認　2.配管工事の確認」にて指示した給水、給湯管の位置から給水、給湯管を化粧台に引き込むためにバックパネルあるいは洗面横収納（下部）にφ３５～φ４５の穴をホールソー等であけます。

• 壁給水
※バックパネル



• 壁排水
※洗面横収納（下部）の背板



※上記方法は目安です。必ず現場の配管位置にあわせて穴あけをしてください。
• 床給水および床排水の場合は穴加工は不要です。

1－2）水栓金具の取付け。

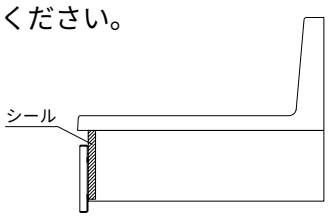
水栓金具の取付けは、水栓金具の施工説明書をご覧ください。

⚠ 注意

水栓金具はキャビネットを壁に固定する前に取付けてください。
※キャビネットを壁に固定した後は水栓金具の取付け作業ができなくなります。

株式会社 INAX
お客さま相談センター　ダイアルイン　☎0562-31-0792
平日「9：00～19：00」対応　土日・祝日「10：00～18：00」対応（年末年始・夏期休暇は除く）

1－3）木口フィラーの取付け
化粧台本体の左右側面に付属の木口フィラーを貼りつけてください。



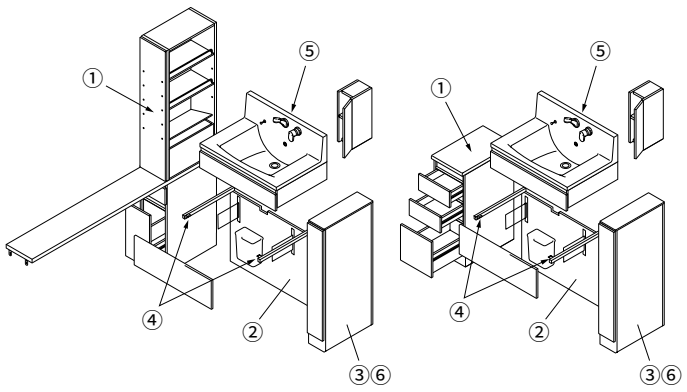
1－4）サイドキャップの取付け。（別売品）
サイドキャップ（別売品）を化粧台と壁との間に取り付ける場合は、壁に固定する前に取り付けてください。取付け方法はサイドキャップの施工説明書をご覧ください。

2. 化粧台の設置

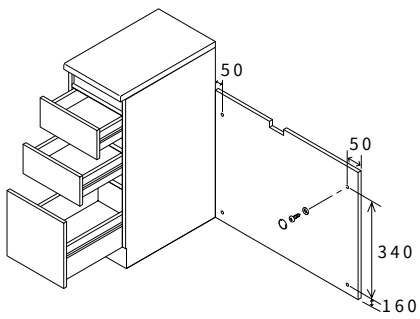
ワンポイント

- ●排水器具操作ボタン部は、洗面化粧台を壁に固定する前にカウンターに取り付けておくと、取付作業が行いやすくなります。
- ●ミラーキャビネットと組み合わせる場合は、ミラーキャビネット棚部下端のフレームをカウンター裏面に差し込んで取り付けてください。

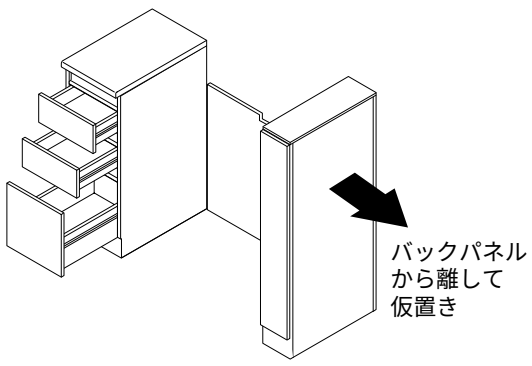
2－1）側面壁に周辺キャビネット（トール・サイドベース）が設置されている場合。



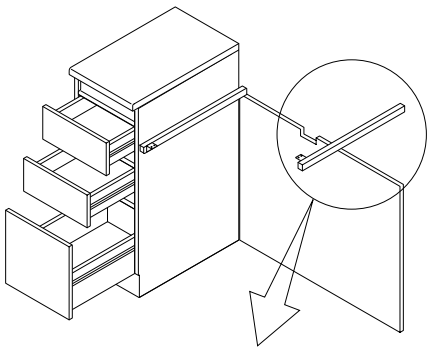
①まず周辺キャビネット（トール・サイドベース）を設置します。
※後述の周辺キャビネットのページをご覧ください。
②バックパネルを設置します。
（1）バックパネルを隣接するキャビネットの側面に合わせて設置します。隣接するキャビネットとすき間が生じる、または床面と水平でない場合は下端のアジャスターボルトで調節してください。
（2）下穴4ヵ所に固定用ねじ（皿φ4.5×60mm、ワッシャーおよび化粧キャップ）で壁に固定します。

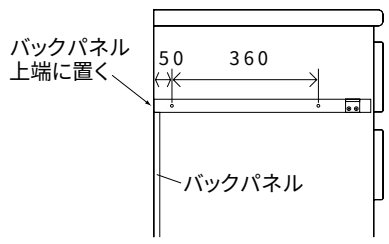


③洗面横収納（下部）を仮置きします。
洗面横収納（下部）をバックパネルの側面から若干離して仮置きします。壁面と直角がでない、または床面と水平でない場合は下端のアジャスターボルトで調節してください。

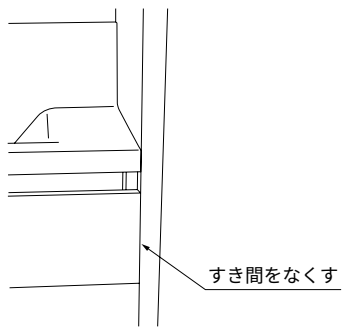


④カウンター固定用桟木を取付けます。
カウンター固定用桟木をバックパネル上面に水平・垂直に置きます。
背板と隣接するキャビネットに固定用ねじ（トラスφ4.0×30mm）で固定します。

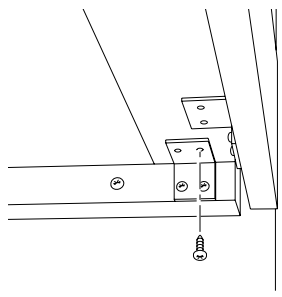




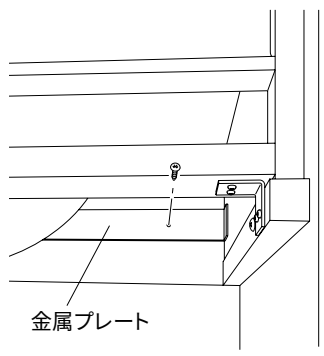
⑤化粧台上部を設置します。
（1）化粧台部をカウンター固定用桟木の上に載せます。
（2）化粧台上部と洗面横収納（下部）および隣接するキャビネット類にすき間が生じている場合は、洗面横収納（下部）を化粧台上部側に詰めてください。



（3）カウンター固定用桟木の固定金具と化粧台上部を固定用ねじ（なべφ3.5×16mm）で取付けてください。



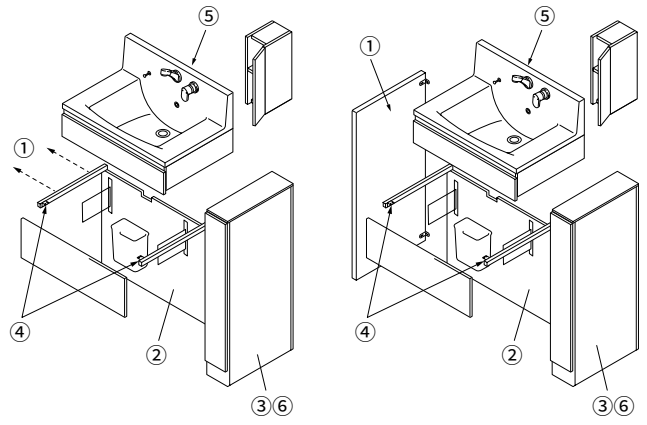
（4）化粧台上部の内部金属プレートと壁を固定用ねじ（トラスφ4.0×50mm）で固定します。



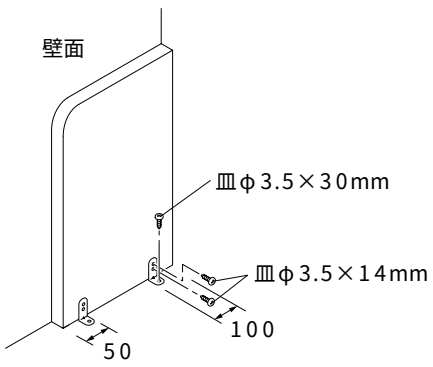
⑥洗面横収納（下部）を設置、固定します。
仮置きした洗面横収納（下部）を固定します。キャビネットの内側より3本の固定用ねじ（トラスφ4.0×50mm）で壁に固定してください。

→3－1）へ続く

2－2）側面壁に直接設置、またはエンドパネル（LCE-035）を取付けて設置する場合。



①直接壁に固定する場合は壁内に補強があることを確認してください。壁に補強がない場合はエンドパネルが必要です。
（1）エンドパネル下のアジャスターボルトで壁面との直角および床面との水平を調節してください。
（2）アジャスターボルトの調節後、エンドパネル内側の下方を床固定金具で床面と固定します。

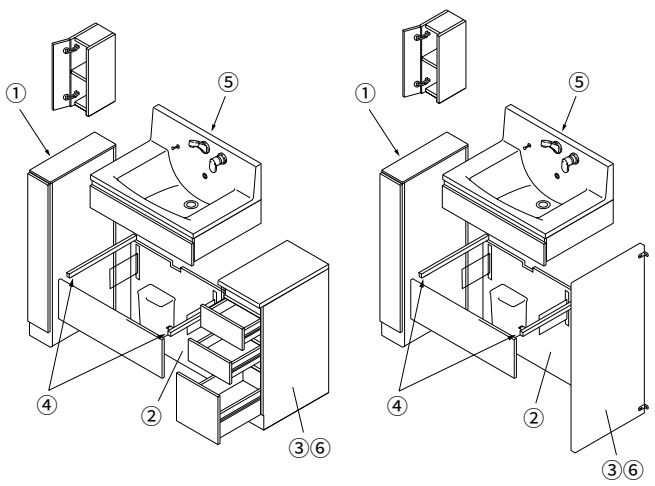


以下の手順は2－1）の時と同じです。
先述の2－1）②～⑥の項をご覧ください。

②バックパネルを設置します。
③洗面横収納（下部）を仮置きします。
④カウンター固定用桟木を取付けます。
壁に直接設置する場合は、固定用ねじはトラスφ4.0×50mmを用いてください。
⑤化粧台上部を設置します。
⑥洗面横収納（下部）を設置、固定します。

→3－1）へ続く

2－3）側面壁に洗面横収納が設置され、反対側に周辺キャビネット（トール・サイドベース）またはエンドパネル（LCE-035）が付く場合。



①まず洗面横収納（下部）を設置します。
洗面横収納（下部）を壁面に設置します。壁面と直角でない、または床面と水平でない場合は下端のアジャスターボルトで調節してください。
キャビネットの内側より固定用ねじ（トラスφ4.0×50mm）で壁に固定してください。

②バックパネルを設置します。
2－1）②項と同様に設置します。

③反対側に設置する周辺キャビネットまたはエンドパネルを仮置きします。

（1）隣接する周辺キャビネットを、バックパネルの側面から若干離して仮置きします。周辺キャビネットの設置方法は後述の周辺キャビネットの項をご覧ください。壁面と直角でない、または床面と水平でない場合は下端のアジャスターボルトで調節してください。

（2）エンドパネルの場合は､以下の手順になります。

①エンドパネルをバックパネルの側面に若干離して仮置きします。

②壁面と直角がでない、または床面と水平でない場合は下端のアジャスターボルトで調節してください。

③アジャスターボルトの調節後、エンドパネル内側の下方に床固定金具を取付けます。

④転倒防止L金具をエンドパネル内側に固定します。

※バックパネルへの固定はねじの締付けを緩めにしておき、後述の間口方向の調整ができるようにしてください。

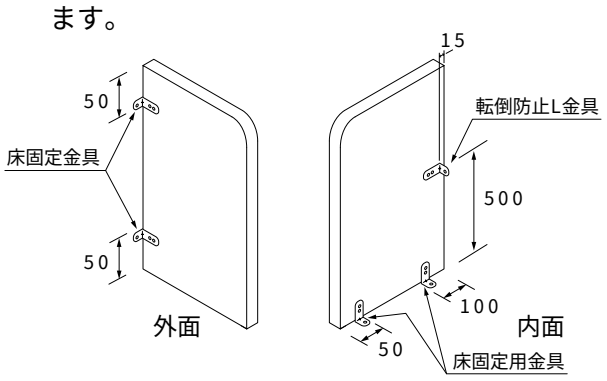
④カウンター固定用桟木を取付けます。
2ー1）④項と同様に設置します。

⑤化粧台上部を設置します。
2ー1）⑤項と同様に設置します。

⑥周辺キャビネットまたはエンドパネルを設置、固定します。

（1）周辺キャビネットを付属の固定ねじで固定してください。（周辺キャビネットの項をご覧ください）

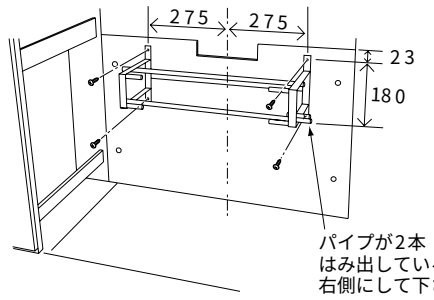
（2）エンドパネルの場合は、内側および外側に取付けた床固定金具を壁面および床面と固定します。



3. その他の部材、給排水の取付け

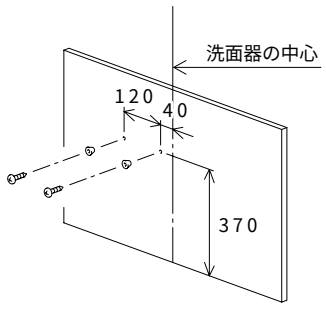
3ー1）バックパネルの部材取付け

バックパネルの下穴位置に合わせて給排水ガイド金具を付属の固定用ねじ（皿φ3.5×14mm）で固定します。

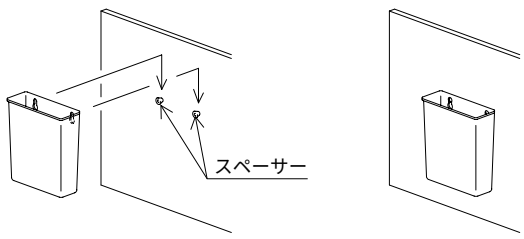


3ー2）水受けタンクの取付け

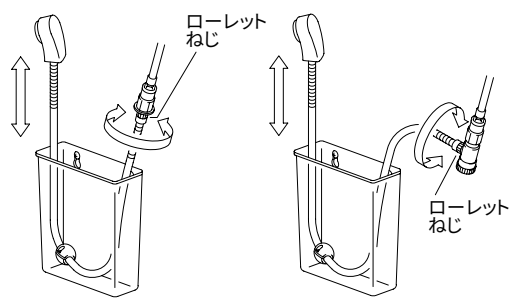
①バックパネルのガイド穴2箇所に付属の固定用ねじ（なべφ3.5×20mm）でスペーサーを取付けます。



②スペーサーにタンクの丸い穴の部分を入れ、タンクを下に降ろした状態で凸部に引っ掛けて設置します。



③水受けタンク取付後、水栓金具のホースをタンクに納めてください。水栓金具のシャワーヘッドを2、3回出し入れし、ホースが水受けタンク内におさまることを確認してください。



（一般地仕様）　（寒冷地仕様）

ワンポイント

ホースがねじれた状態で水受けタンクに納めると、水栓金具のシャワーヘッドの出し入れ操作の時にタンクからホースが出てしまう恐れがあります。その場合は、上図のローレットねじを回し、ホース全体のねじれを戻してください。

3ー3）排水器具と排水トラップの取付け

●カウンター下の排水器具の一部と排水トラップを図のように取り付けてください。
横引き管は給排水ガイド金具の中を通して接続してください。

※排水器具の下端を15～20mmカットしてください。

⚠ 注意

横引き管が逆勾配にならないように取り付けてください。
※排水能力が悪くなります。

●排水口はあらかじめカウンターに取り付けてあります。増締めはしないでください。排水口がゆるんでいる場合は、980N･cm {100kgf･cm} で締めてください。

⚠ 注意

強く締めすぎないようにしてください。
※排水口部分が破損し、漏水を引きおこす恐れがあります。

●排水口以外のナットは手でしっかりと締め付けてください。

●あらかじめ排水口管に袋ナット、パッキンを通し、それからトラップU管を差込部の最後まで入れてください。

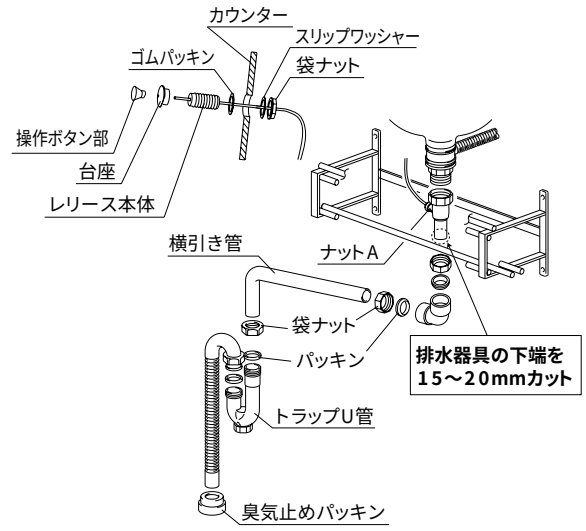
※ナットAはあらかじめ取り付けてあります。ゆるんでいる場合は､手でしっかりと締めてください。

⚠ 注意

ナット類は手でしっかりと締め付けてください。
※締付けが不十分だと漏水を引きおこす恐れがあります。

ワンポイント

操作ボタン部の取付けは、排水器具に同梱の施工説明書でご覧ください。



●建築側排水管には臭気止めパッキンをはめてから排水ホースを差し込んでください。
臭気止めパッキンの接続部はシール材にてコーキングしてください。

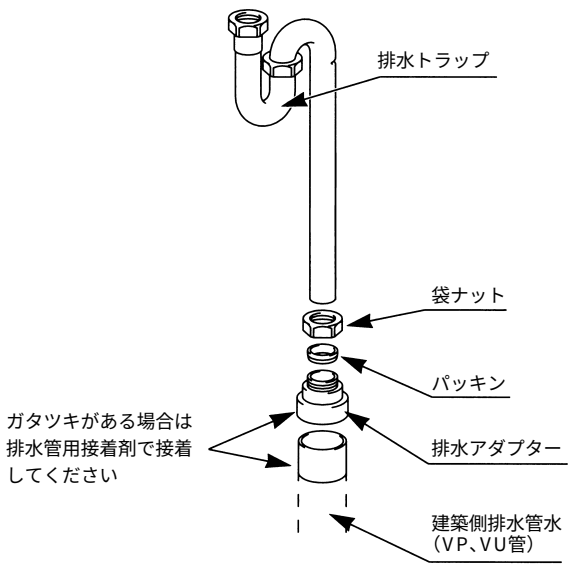
※排水トラップを建築側排水管に接続する際は、排水トラップを切らずに建築側排水管に十分挿入してください。

〈床給水仕様の場合〉

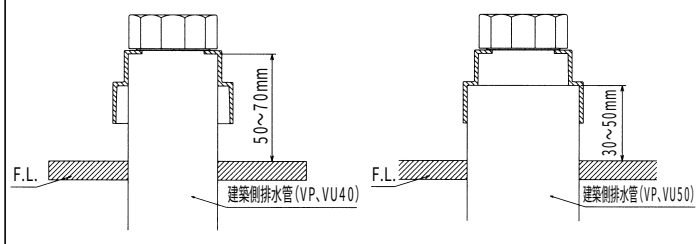
●建築側排水管に排水アダプターを接着して固定してください。

●排水プレートを排水トラップに差し込み、排水アダプター上部に差し込んでください。

※排水アダプターの上部の袋ナットをしっかりと締めてください。
排水トラップのガタつきや、臭気もれの原因になります。



VP,VU40の場合　　VP,VU50の場合



⚠ 警告

建築側排水管VP.VU管の立ち上げ寸法が足りないと接着できなくなります。

3ー4）止水栓の取付け

止水栓はメンテナンスのため、取り付けてください。

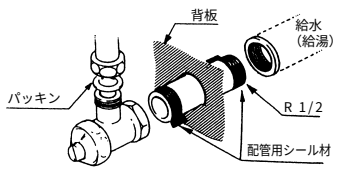
●壁給水の場合

止水管は別売品です。

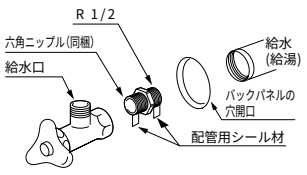
※止水栓手配品番

一般地:LF-3K-MB（Lタイプ）・LF-3K（Rタイプ）

寒冷地:LF-3K-MB-U（Lタイプ）・LF-3K-U（Rタイプ）



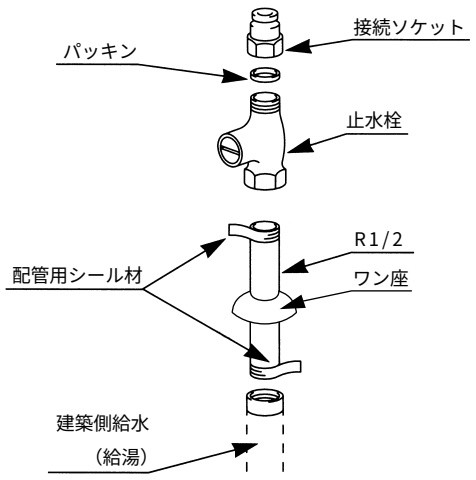
※LCXFO-✳✳✳S（N）L



※LCXFO-✳✳✳S（N）R

●床給水の場合

付属の止水栓で取り付けてください。



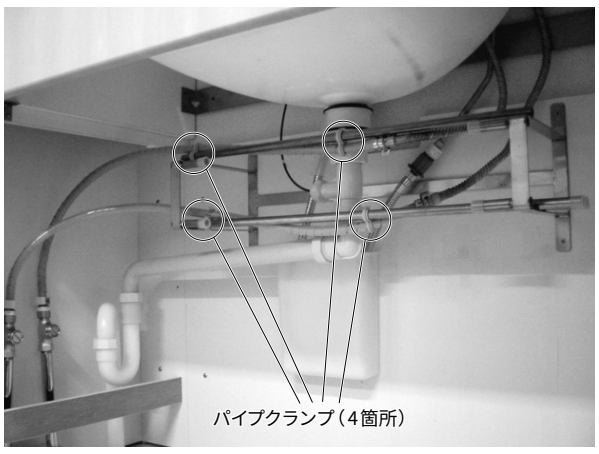
3ー5）床給水時の給水ホースの取付け

①止水栓と水栓金具を付属の給水・給湯ホースで接続します。水側（手前側止水栓）には水色のホースを、湯側（壁側止水栓）には赤色のホースを使用してください。

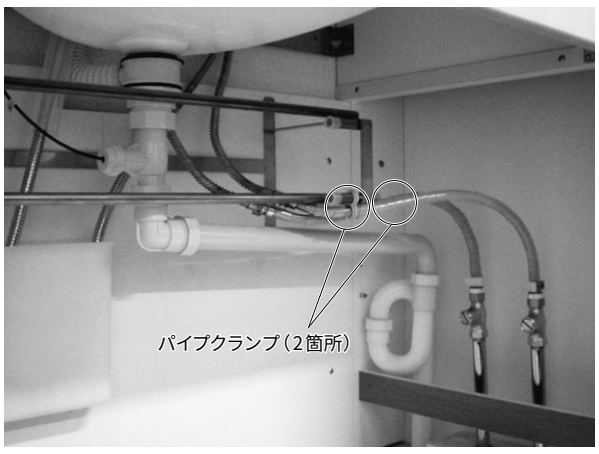
②給排水ガイド金具にパイプクランプを取付けます。

③パイプクランプのもう一方と給水ホースを引っ掛けます。

※給水ホースがたるんだり、暴れたりしないよう固定して下さい。



Lタイプ施工例

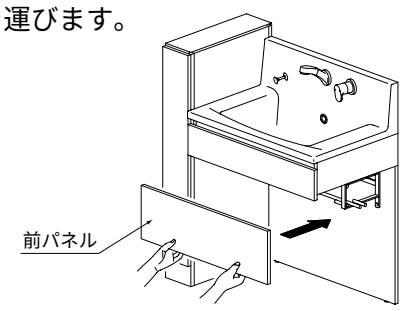


Rタイプ施工例

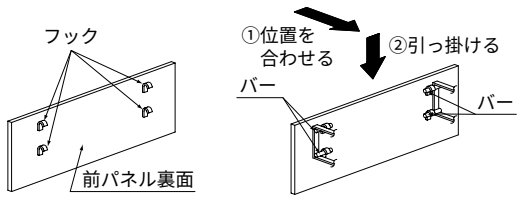
3ー6）前パネルの取付け

給排水ガイド金具に前パネルを引っ掛けます。

①前パネルの下部をつかんで、キャビネット内部に前パネルを運びます。



②前パネル裏面のフック（4カ所）とキャビネット内部のバーの位置を合わせます。



③キャビネット内部のバーに前パネルのフックを引っ掛けます。

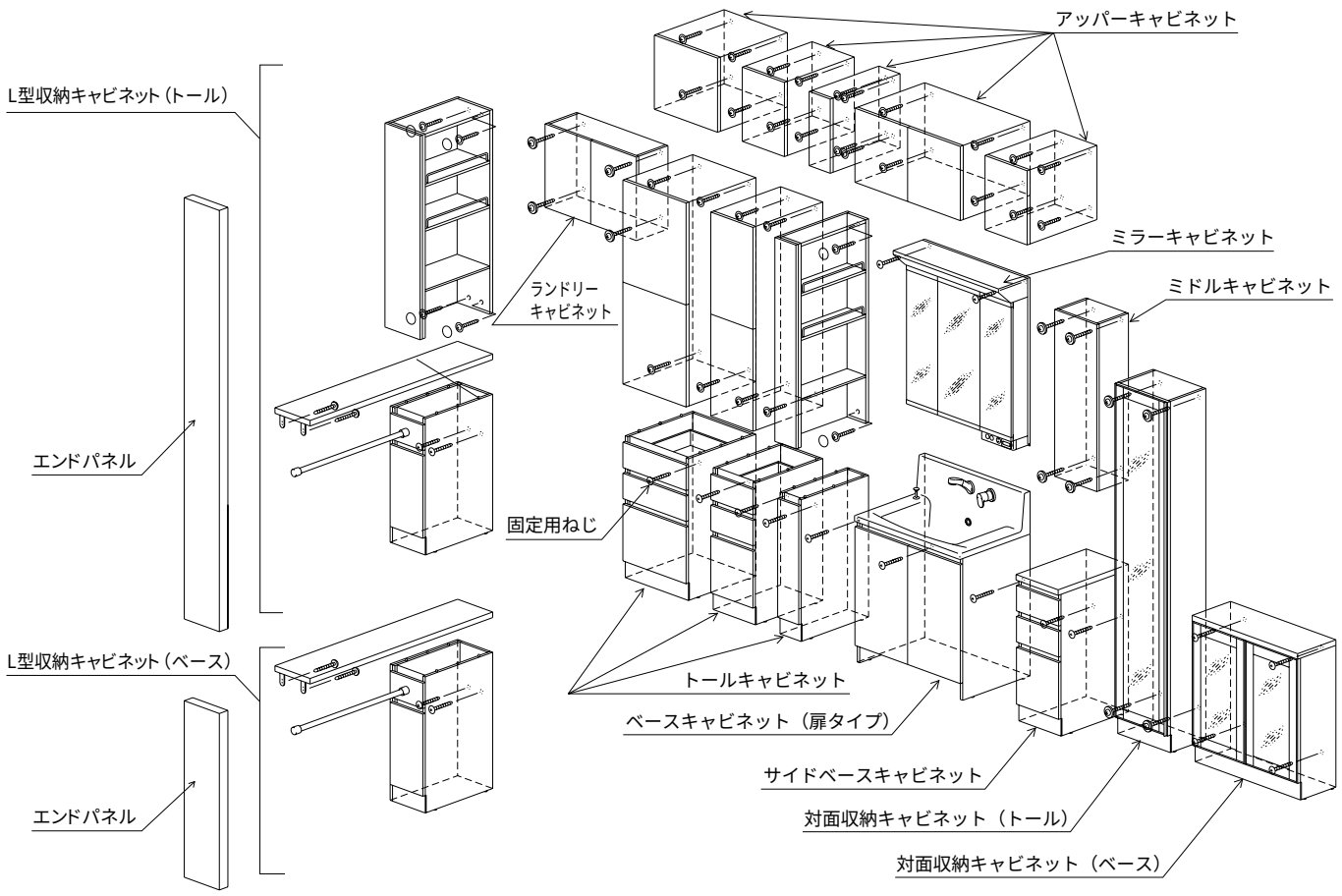
※バーにフックが引っ掛かったことを確認してから手を離してください。

3ー7）ミラーキャビネットおよび洗面横収納（上部）の取付け

①カウンター上にミラーキャビネットを設置します。（詳細はミラーキャビネットの施工説明書をご覧ください）

②洗面横収納（上部）の天面をミラーキャビネットの上端に合わせて設置し、キャビネットの内側より4本の固定用ねじ（ワッシャー付きなべφ4.5×60mm）で壁に固定します。

3ー8）その他のキャビネットの取付け



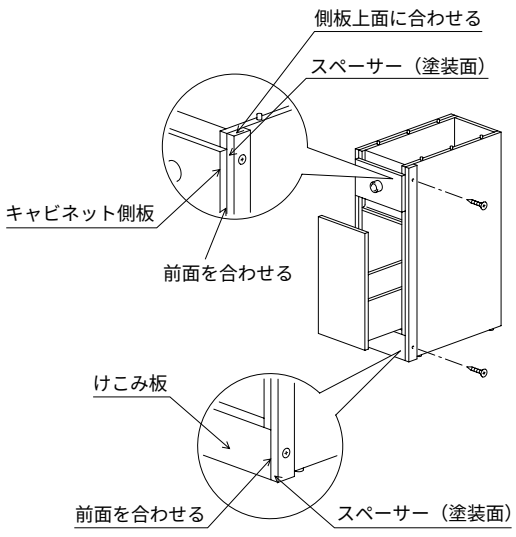
1）スペーサーの取付

（250サイズトールキャビネット、L型収納キャビネット（トール・ベース））

①スペーサーを、壁側側面に取り付けます。
スペーサーの前面とキャビネットけこみ板の前面を合わせてください。

②同梱の固定用ねじ（皿φ4.0×30mm）で固定してください。

※スペーサーの塗装面が表にくるように取り付けてください。



2）各キャビネットの固定方法

■サイドベースキャビネットの固定方法

①キャビネットの側板前面を洗面化粧台の側板前面およびカウンター上面とキャビネット上面を合わせて設置します。
側板の前面およびキャビネット上面が合わない場合、またはキャビネットが水平でない場合は下端のアジャスターボルトで調節してください。
②キャビネットの内側より固定用ねじ（トラスφ4.0×50mm）で壁に固定します。
③養生シートをはがしてからシリコンコーキングしてください。

■トールキャビネットの固定方法

①250サイズトールキャビネットは、前述の「1）スペーサーの取付け」に従い、スペーサーを取り付けます。
※この商品は必ず壁の側面に施工してください。
②トールキャビネット（下部）のダボにトールキャビネット（上部）をはめ込みます。
③キャビネットの側板前面を洗面化粧台の側板前面に合わせて設置します。
側板の前面が合わない場合、またはキャビネットが水平でない場合は下端のアジャスターボルトで調節してください。
④150サイズトールキャビネットは、上・下計3本の固定用ねじ（ワッシャー付きなべφ4.5×60mm）で、その他のトールキャビネットは内側より上部4本、下部2本の固定用ねじ（ワッシャー付きなべφ4.5×60mm）で固定します。
⑤固定後固定用ねじ穴に化粧キャップをはめます。

■ミドルキャビネットとランドリーキャビネットの固定方法

キャビネットの天面をミラーキャビネットの上端に合わせて設置し、キャビネットの内側より固定用ねじ（ワッシャー付きなべφ4.5×60mm）で壁に固定します。
※ランドリーキャビネットのタオル掛台座がゆるんでいる場合は、タオル掛台座を手で回して締めてください。

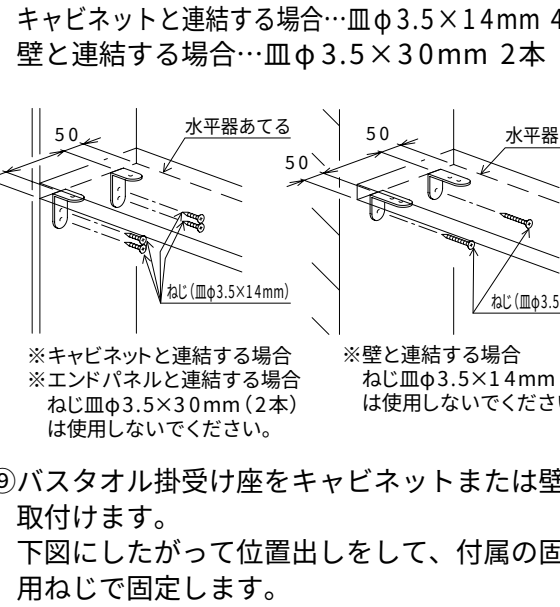
■アッパーキャビネットの固定方法

アッパーキャビネットをミラーキャビネットまたはミドルキャビネットの上に設置し、キャビネットの内側より固定用ねじ（ワッシャー付きなべφ4.5×60mm）で壁に固定します。
※一面鏡の上に取り付ける場合
750・900・1000・1200サイズアッパーキャビネットの場合
一面鏡のコードをアッパーキャビネットの底板についているスペーサー部（壁側）に押し当ててください。

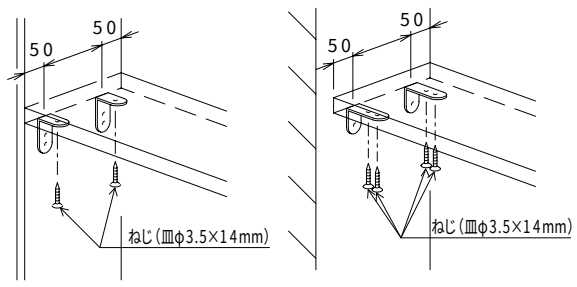
■L型収納キャビネット（ベースタイプ）の固定方法

①前述の「1）スペーサーの取付け」に従い、スペーサーを取り付けます。
②キャビネットの側板前面を洗面化粧台の側板前面に合わせて設置します。
側板の前面が合わない場合、またはキャビネットが水平でない場合は下端のアジャスターボルトで調節してください。
③キャビネットの内側より固定用ねじ（トラスφ4.0×50mm）で壁に固定します。
④バスタオル掛の受け座（本体側）のねじをゆるめ、付属のバーをキャビネット内に挿入します。

⑤天板の長さをプランに合わせてカットしてください。
※キャビネット設置用の穴が空いていない側をカットしてください。



⑥天板の端に固定金具を固定します。
天板とキャビネットを連結する場合は天板側は1カ所固定、壁に直接取り付ける場合は天板側は2カ所固定になります。

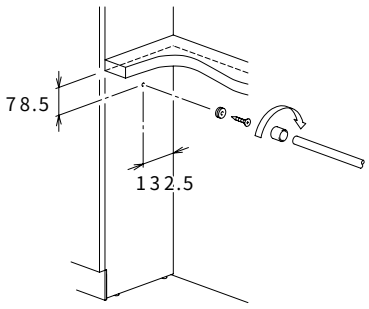


※キャビネットと連結する場合
※エンドパネルと連結する場合
※壁と連結する場合

⑦キャビネットのダボに天板をはめ込みます。
⑧天板をキャビネットまたは壁と固定します。
キャビネットと連結する場合…皿φ3.5×14mm 4本
壁と連結する場合…皿φ3.5×30mm 2本

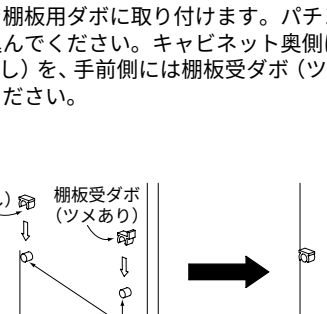
※キャビネットと連結する場合
※エンドパネルと連結する場合
ねじ皿φ3.5×30mm（2本）は使用しないでください。
※壁と連結する場合
ねじ皿φ3.5×14mm（2本）は使用しないでください。

⑨バスタオル掛受け座をキャビネットまたは壁に取付けます。
下図にしたがって位置出しをして、付属の固定用ねじで固定します。
※アジャスターで高さを調整した場合、高さは現品合わせで測ってください。



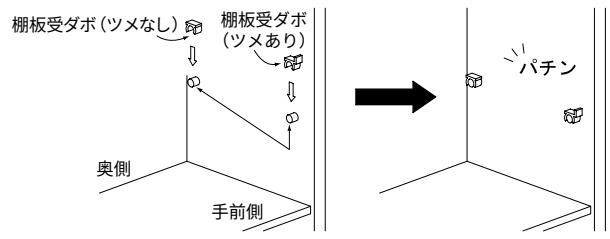
キャビネットと連結する場合…皿φ3.5×12mm
壁と連結する場合…皿φ3.5×30mm

⑩キャビネットに挿入したバーを取出し、ソケットを通します。ソケット内部にはねじが切ってありますので、受け座に合わせてソケットを締めて固定します。
⑪バスタオル掛の受け座（本体側）のねじを締めます。バスタオル掛にガタツキのないことを確認してください。



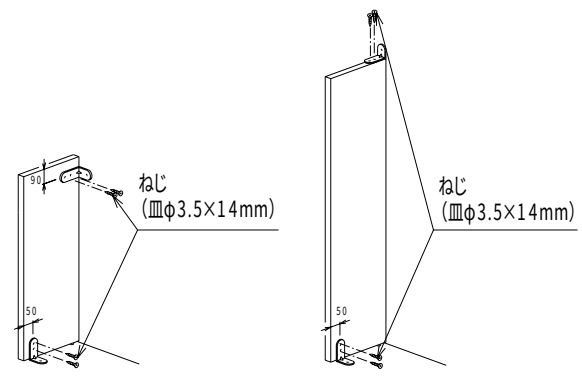
■L型収納キャビネット（トールタイプ）の固定方法

①前述のL型収納キャビネット（ベースタイプ）の手順①～⑪と同じ手順でトールキャビネット（下部）と天板を固定します。
固定用ねじ：ワッシャー付きなべφ4.5×60mm
②トールキャビネット（上部）を天板の上に載せます。
③トールキャビネット（上部）の内側から上下4箇所をねじ（ワッシャー付きなべφ4.5×60mm）で固定します。
④上下4箇所に化粧キャップをはめます。
⑤キャビネット収納部の取付穴に棚板用ダボをしっかりと取り付けます。
※LCXS-255SEL(R)は、一番下のダボ穴を使って棚板を取り付けてください。
※棚板受ダボを棚板用ダボに取り付けます。パチンと音がするまで押し込んでください。キャビネット奥側には棚板受ダボ（ツメなし）を、手前側には棚板受ダボ（ツメあり）を取り付けてください。



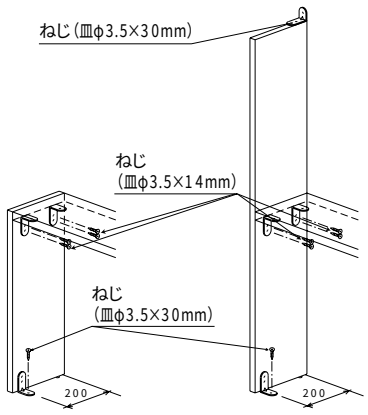
■エンドパネル（LCE-032・LCE-032（1900））の固定方法

①エンドパネルを仮置きします。
L型収納キャビネットの天板と上面が合わない、または水平でない場合は下のアジャスターボルトで調節してください。
②エンドパネルに固定金具を固定用ねじ（皿φ3.5×14mm）で取り付けます。



LCE-032　　LCE-032（1900）

③L型収納キャビネットの天板に取り付けた固定金具とエンドパネルを固定用ねじ（皿φ3.5×14mm）で固定します。



④床および壁とエンドパネルを固定用ねじ（皿φ3.5×30mm）で固定します。

■対面収納キャビネット（ベースタイプ）の固定方法

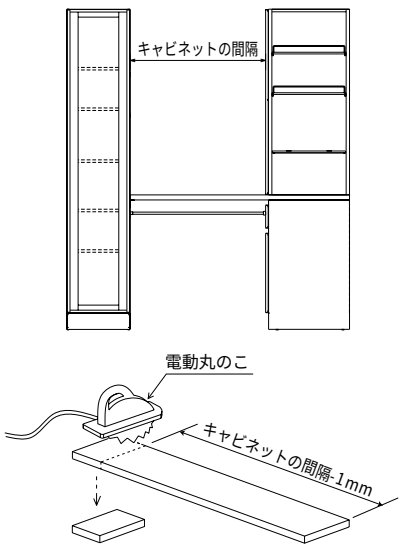
①キャビネットを設置します。
キャビネットが水平でない場合は下のアジャスターボルトで調節してください。
②キャビネットの内側より固定用ねじ（トラスφ4.0×50mm）で壁に固定します。

■対面収納キャビネット（トールタイプ）の固定方法

①けこみ部を床に置き水平を確認します。
水平でない場合は下端のアジャスターボルトで調節してください。
②LCS-372SAで棚板（BB-LC-T90）を取り付ける場合は、キャビネット部のダボ穴が内側へくるように上下方向を合わせてから、キャビネット部をけこみ部へ差し込んで下さい。
単品で使用される場合は、開き勝手を合わせて設置します。
③キャビネット内側から、固定用ねじ（ワッシャー付きなべφ4.5×60mm）で壁に固定します。
④トールタイプを2台以上隣接するプランで、キャビネット間にすき間が生じる場合はキャビネット内から連結用ねじ（トラスφ4.0×25mm）で連結します。（蝶番の下方、上中下3カ所）

■棚板（BB-LC-T90）の長さ調節

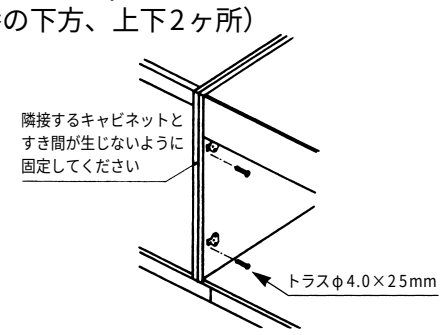
①キャビネットの間隔を測ります。
②棚板をキャビネットの間隔－1mmでカットします。



③キャビネットのダボ受けにダボをねじ込む。
④棚板をダボの上に設置する。

■キャビネットの連結

隣接するキャビネットとすき間が生じる場合は連結用ねじ（トラスφ4.0×25mm）（アッパーキャビネットはφ4.0×30mm）で固定します。
（蝶番の下方、上下2ヶ所）



小物の取付け

■ミドルキャビネット（埋め込みタイプ）（KCD-305PL）の取付け

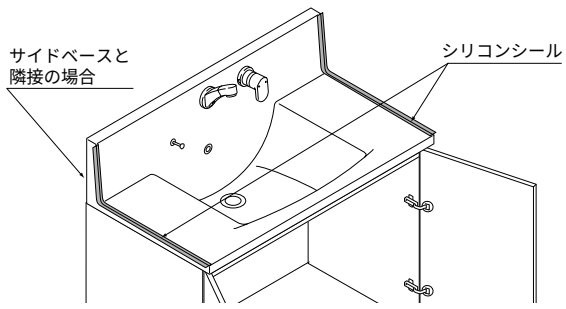
■タオルバー（BB-LCX5（750）、BB-LCX5（900）の取付け

■オープン棚（BB-GX7）の取付け

それぞれ付属の施工説明書をご覧ください。

カウンター周囲のシール

カウンターと壁あるいはキャビネットとの合せ部をシリコンシールします。



施工後の確認

■キャビネット本体の確認

（1）キャビネットの取付ねじが十分に締まっていること、ゆるみがないことを確認します。
（2）キャビネット自体にガタツキ、壁とキャビネットとのすき間がないことを確認します。
（3）キャビネット固定用ねじのゆるみ、キャビネットのガタツキがある場合は、必ずねじ位置をかえて取り付け直します。
（4）扉のふぞろいがある場合は、後述の「扉の調節」で調節します。
（5）エクセレントシリーズ（色番／XW5N）・サテングロスシリーズ（色番／XH2N、XT2N）は、扉表面と扉小口面の養生フィルムをはがします。

■吐水量、排水量の確認

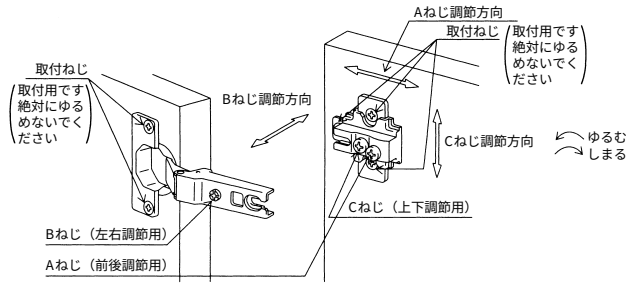
（1）洗面器の排水栓を閉じて水を満水にし、吐水させて洗面器から水があふれないよう（オーバーフロー能力の範囲以内）水側、湯側の止水栓の開閉をして流量の調節をします。
不用意に全開した場合の飛散を予防するため全開時、6.5L／分程度になるように湯水の止水栓を調節してください。オーバーフローまでの時間がおよそ2分30秒ほどです。
（2）排水栓を開け、水を一度に排出し、トラップ、排水管の各接続部からの水漏れのないことを確認します。

お願い

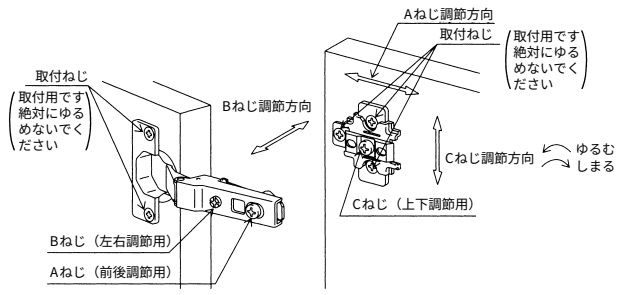
施工後は洗面器表面を養生して、後の工事などで傷が付かないようにしてください。
※洗面器に傷が付くと、補修しても完全に元の状態には戻りません。

扉の調整（スライド蝶番ねじ固定式、ワンタッチ式）

（1）扉の調節
（a）洗面化粧台・サイドベースキャビネット（ねじ固定式）の場合



（b）ミドルキャビネット・アッパーキャビネット（ワンタッチ式）の場合



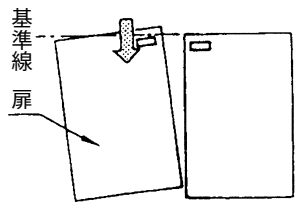
⚠ 注意

調整後は必ずAねじ、Cねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※締付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。

各ねじの調整量
Aねじ……前方向2.0mm、後方向1.0mm
Bねじ……右へ回す→手前へ4mm、左へ回す→後方へ1mm
Cねじ……上方向1.5mm、下方向1.5mm

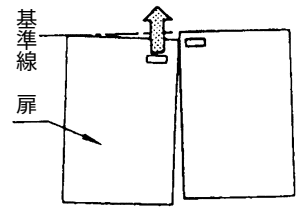
●扉の先端が上がっているとき

①扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調整します。
または扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
②扉を閉めて確認します。
③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



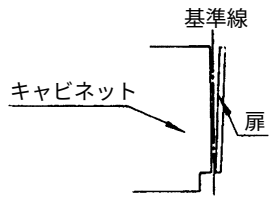
●扉の先端が下がっているとき

①扉下方の蝶番のBねじを右へ回して調整します。
または扉上方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
②扉を閉めて確認します。
③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



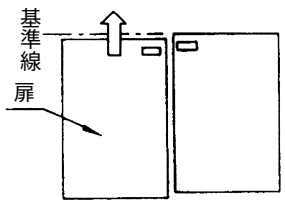
●扉と側板のすき間が上下異なるとき

①扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。
②正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。



●扉の位置が上下異なるとき

①扉の上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。
②正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。



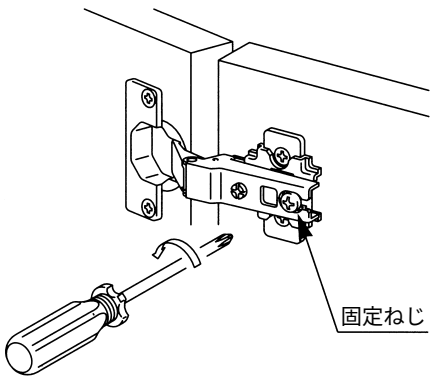
アドバイス

●Aねじ、Bねじ、Cねじは扉を取り付けたままで調節できます。
●2枚扉（両開き）の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉で交互に調節を行ってください。

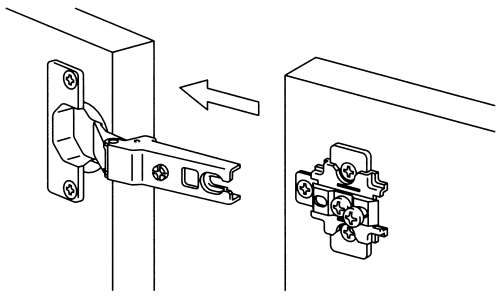
（2）扉の取外方法

（a）洗面化粧台・サイドベースキャビネット（ねじ固定式）の場合

①固定ねじをドライバーでゆるめます。

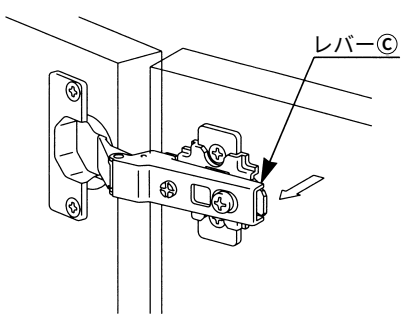


②扉を矢印の向きに引っ張って、取り外します。

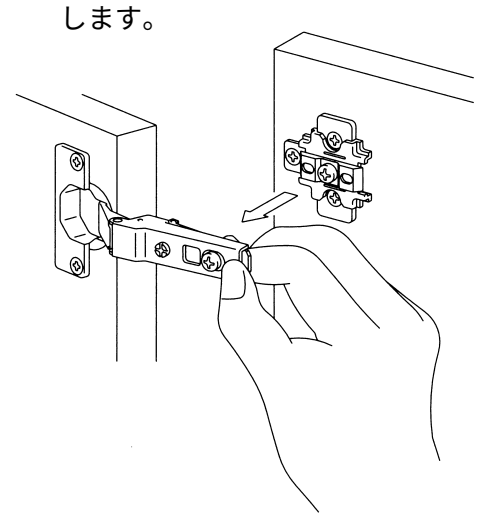


（b）ミドルキャビネット・アッパーキャビネット（ワンタッチ式）の場合

①蝶番のレバーⒸを矢印の向きに引っ張ります。



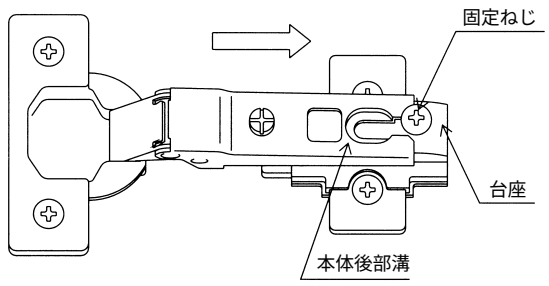
②蝶番の軸Ⓐを、フックⒷに引っ掛けます。



（3）扉の取付方法

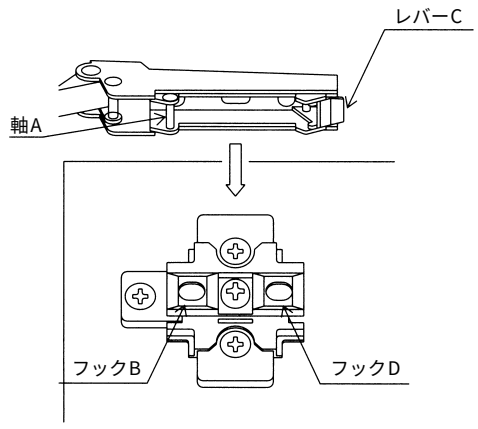
（a）洗面化粧台・サイドベースキャビネット（ねじ固定式）の場合

①本体後部溝を台座固定ねじに差し込み、固定ねじを締め付けます。

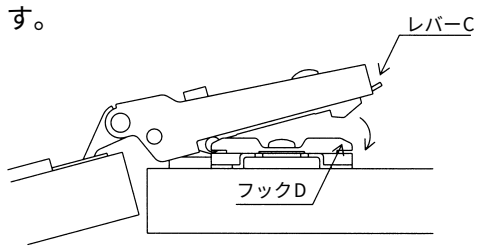


（b）ミドルキャビネット・アッパーキャビネット（ワンタッチ式）の場合

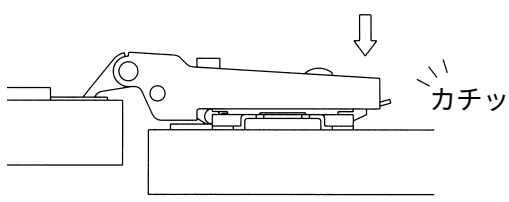
①蝶番の軸Ⓐを、フックⒷに引っ掛けます。



②蝶番のレバーⒸを、フックⒹに合わせます。



③蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押します。



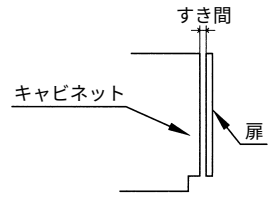
⚠ 注意

蝶番が確実に結合していることを確認してください。
※結合が不十分ですと扉の落下によりケガをする恐れがあります。

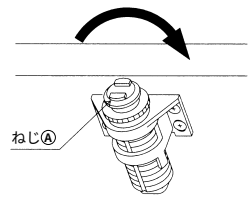
プッシュラッチの調節

ミドルキャビネット・トールキャビネット・アッパーキャビネットの場合

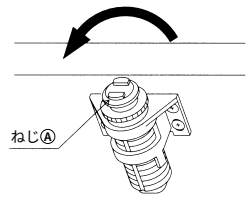
（1）扉と本体のすき間を確認します。
基準値：すき間2mm



●すき間が大きい場合。
プッシュラッチのねじⒶを右に回します。



●扉のすき間が小さい場合。
プッシュラッチのねじⒶを左に回します。



（2）扉を開閉しているプッシュラッチが正しく動作するか確認します。